

指定管理者評価シート

事業名	体育施設運営管理費(ジャンプ競技場等)	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	---------------------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山ジャンツェ	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成15年11月	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディアムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成12年4月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		

2 指定管理者	
名称	株式会社 札幌振興公社
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:
指定単位	施設数:4 複数施設を一括指定の場合、その理由:ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。
業務の範囲	<p>【ジャンプ競技場】</p> <p>(1)施設の維持及び管理 (2)施設を使用に供すること (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業 (4)使用承認等に関すること (5)大型映像車の運行に関すること (6)上記各業務に付随する業務</p> <p>【ミュージアム】</p> <p>(1)施設の維持及び管理 (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施 (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し (4)使用承認等に関すること (5)上記各業務に付随する業務</p>
3 評価単位	施設数:4 複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため

II 令和元年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																		
1 業務の要求水準達成度																					
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年を超える指定管理者としての経験を活かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。	管理方針に基づき、ジャンプ競技への関心及び競技力の向上やウィンタースポーツの普及と振興に努めた。	A B C D 管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。雪不足の影響により人口降雪機を使用したため、ガソリン・軽油使用料は上昇しているが、その他の項目は環境配慮について継続して取り組んでおり、評価できる。																		
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。																				
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでいる。	各社員が環境への配慮を意識して取り組んだ。R元年度はジャンプ台の夏の練習等の利用が増えたことから、水使用量も増加した。ガソリン・軽油使用量は人工降雪機の使用等で目標に達しなかった。今後も目標達成に向け継続して削減に努めていきたい。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量の削減</td> <td>1,229,769</td> <td>1,340,103</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>水使用量の削減</td> <td>13,634</td> <td>15,046</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>ガソリン・軽油使用量の削減</td> <td>3,617</td> <td>9,592</td> <td>38%</td> </tr> <tr> <td>事務用紙使用量の削減</td> <td>84,150</td> <td>104,500</td> <td>81%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	目標値	実績値	達成率	電気使用量の削減	1,229,769	1,340,103	92%	水使用量の削減	13,634	15,046	91%	ガソリン・軽油使用量の削減	3,617	9,592	38%	事務用紙使用量の削減	84,150
	項目	目標値	実績値	達成率																	
電気使用量の削減	1,229,769	1,340,103	92%																		
水使用量の削減	13,634	15,046	91%																		
ガソリン・軽油使用量の削減	3,617	9,592	38%																		
事務用紙使用量の削減	84,150	104,500	81%																		
▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) 統括責任者を事業課長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。教育・研修計画に基づき研修等を実施した。AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。	計画に沿った組織体制を整えられるよう、欠員が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な社員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。	職員配置についても計画書に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めていると言える。																			
▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 職場ミーティングを適宜行い、業務の問題点や改善・サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。	今後も社員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題の改善に努めていきたい。																				
▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づいて適正かつ確実に業務が遂行された。	業務計画に沿って適正な再委託を行った。																				

<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/17</td> <td>荒井山ジャンプ利用者連絡協議会</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者</td> </tr> <tr> <td>7/12</td> <td>第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等 について)</td> </tr> <tr> <td>11/6</td> <td>第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等 について)</td> </tr> <tr> <td>3/3</td> <td>第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況 等について)</td> </tr> <tr> <td>3/31</td> <td>第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等 について)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	協議・報告内容	4/17	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者		7/12	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等 について)	11/6	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等 について)	3/3	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況 等について)	3/31	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等 について)	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者		<p>協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取り組んだ。 R2年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。</p>	<p>また、札幌市や関係団体との協議についても定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であるが、適切に対応を行っている。</p>
開催日	協議・報告内容																	
4/17	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会																	
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者																		
7/12	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等 について)																	
11/6	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等 について)																	
3/3	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況 等について)																	
3/31	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等 について)																	
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者																		
<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>指定管理業務と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。 現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。</p>	<p>適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めた。</p>																	
<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。</p>	<p>お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映した。</p>	<p>要望等については、来場者のアンケートのみならず、連絡調整会議等の機会において競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っている。</p>																
<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>アンケートの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。 ジャンプ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。</p>	<p>過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。</p>																	

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。</p>	<p>適切な労務管理に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)に設置したAEDの点検等を行うとともに、その使用についてAED講習も実施した。(4月) 平成17年6月に定めた「個人情報の保護に関する方針」に基づき、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事務部内に掲示し緊急時に備えた。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行した。 なお、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託した。 ※委託業務の内容については、別紙1のとおり</p> <p>▽ 防災</p> <p>防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した。(9月) 災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した。(5月)</p>	<p>計画に沿った管理運営の中で、個人情報の保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も慎重かつ安心・安全な施設運営を構築していきたい。</p> <p>業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。R2年度以降も継続して関係各所と連携の下、業務を遂行していきたい。</p> <p>今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。			
A	B	C	D								
計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。											

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ オリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務</p> <p>①自主研修の場の提供(463校来場)</p> <p>②教育普及活動(特別展示2回、イベント9回)</p> <p>③実習の受入れはミュージアム3階リニューアル工事に伴い、10月以降の受入れを中止したため、0校。</p> <p>④常設展示 1階展示コーナーの展示内容・レイアウト等の変更を行った。 (ユニフォーム追加・平昌Olympicアイスホッケー女子日本代表等の展示設置)</p> <p>⑤校外学習(小学校13校、中学校12校、大学7校で実施)</p> <p>⑥オリンピック・パラリンピック教育 R元年度は、札幌市教育委員会のオリ・パラ教育推進事業の研究校に指定された61校(昨年度45校)を対象にオリ・パラ教育を実施した。 実施にあたって、ミュージアムの学芸員を中心に阿部名誉館長や、北海道オリンピック・パラリンピアンズから紹介を受けて、オリンピック・パラリンピアンに講師を依頼し、個別の講演内容について調整を行うことで、競技種別ごとの特長等を活かした授業となるよう努めた。 また各学校とは、児童の学年や地域等によって教諭と授業内容を事前に調整し、児童の興味を湧かせてより理解を深める授業になるように努めた。なお実施に伴い、コロナの感染予防対策で最後の1校のみ実施できなかった。</p> <p>⑦収蔵品データベース化 (展示物・収蔵品の調査データを件追加登録。現在14,184件を登録)</p> <p>⑧収蔵品の収集・調査・研究・展示 ・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示 ・オリンピック、パラリンピアン の用具収集・展示(永瀬充さん、足立友里恵さん、藤本那菜さん)</p> <p>⑨館内イベント(JOCとコラボ企画) 10月よりJOCとコラボイベントをして「かんばれ！ニッポン！全員団結プロジェクト」のイベントを実施し、人の形に折り、自分の似顔絵とアスリートへの応援メッセージを書いて完成したORIGAMIは、日本選手団へと届けられる企画だったものの、イベント開催期間中に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となった。</p> <p>⑩OMN総会出席 10月に東京で行われたOMN総会に出席し、5つのワーキンググループ(巡回展、オリンピック教育、展示収集、オリンピックデー、IT)に出席し、それぞれについて当館の現状と情報交換を行った。</p> <p>⑪オールオリンピアンズ拠点の設置 オリンピックやパラリンピアンとご来館者が交流できる拠点を設置し、スポーツの活性化を行った。</p> <p>⑫プログラムの実施 H30年度同様、来館者の満足度向上を目的として新たなオリ・パラ競技(フアカーリング・ホッチャ)体験の実施を行った。</p> <p>※調査研究に関する内容については、別紙2のとおり</p>	<p>概ね業務計画に沿って実施した。 R元年度はオリンピックデーにCurlingの小笠原歩選手をゲストとしてお招きしトークショーやフアカーリングの講習等を実施し、集客に努めた。 H29年度から開始したオリンピック・パラリンピック教育はH30年度の45校から61校に受入を拡大し実施をした。講師として招いたオリンピアン・パラリンピアンと講演内容の調整やスライドの作成を行うとともに、各学校からの希望に合わせた学習となるよう、教諭とも密に連絡をとるようにし、好評価を得た。 R2年度以降については、日本にあるスポーツ関連のミュージアム等との連携を深めることで、より広くオリピズムの理念を市民に伝え、札幌のオリンピックパラリンピック招致に向けた機運醸成に繋がるよう努めたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1272 147 1326 215">A</th> <th data-bbox="1326 147 1380 215">B</th> <th data-bbox="1380 147 1434 215">C</th> <th data-bbox="1434 147 1497 215">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1272 215 1497 1982"> <p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えただけでなく、北海道オール・オリンピアンズ の拠点を設置し、来館者とオリンピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えただけでなく、北海道オール・オリンピアンズ の拠点を設置し、来館者とオリンピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>			
	A		B	C	D						
<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えただけでなく、北海道オール・オリンピアンズ の拠点を設置し、来館者とオリンピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>											

	<p>▽ その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のイベントの実施やサービスに努めた。</p> <p>また、イベント・会議・展示会場として、競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP等への掲載等を行った他、地域町内会等へも周知し利用促進に努めた。</p> <p>文科省より受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業(NTC)では、NTC施設として競技団体の要望を取り入れ環境の整備に努めた。</p>	<p>ジャンプ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めた。</p> <p>NTC事業においても関係団体と連携を図り、トレーニング環境、情報医科学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行していきたい。</p>	<p>個別の利用者や競技団体のトレーニング環境としての受け入れに加え、NTC事業についても、競技団体と連携を取りながら、ジャンプ競技場の拠点施設として取り組みを継続している。</p>																																																																																																				
<p>(5) 施設利用に関する業務</p>	<table border="1" data-bbox="389 568 1015 1527"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30実績</th> <th>R1計画</th> <th>R1決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">大倉山ジャンプ競技場</td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>385</td> <td>1,200</td> <td>904</td> </tr> <tr> <td>競技利用回数</td> <td>19</td> <td>62</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>大会・公式</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>その他催物</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>本部棟会議室</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>テレビ中継装置</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>401,574</td> <td>427,000</td> <td>368,890</td> </tr> <tr> <td colspan="4">宮の森ジャンプ競技場</td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>2,236</td> <td>3,000</td> <td>2,196</td> </tr> <tr> <td>競技利用回数</td> <td>93</td> <td>119</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>大会・公式</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>16,476</td> <td>30,000</td> <td>12,967</td> </tr> <tr> <td colspan="4">荒井山シャンツェ</td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>2,591</td> <td>2,800</td> <td>1,909</td> </tr> <tr> <td colspan="4">オリンピックミュージアム</td> </tr> <tr> <td>有料観覧者</td> <td>84,915</td> <td>75,100</td> <td>78,649</td> </tr> <tr> <td>無料観覧者</td> <td>42,170</td> <td>42,300</td> <td>36,052</td> </tr> <tr> <td>観覧者合計</td> <td>127,085</td> <td>117,400</td> <td>114,701</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="4">大型映像車</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免71件、還付0件</p> <p>施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。</p> <p>また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。</p> <p>※ジャンプ競技場等の利用状況等については、別紙3のとおり</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。</p> <p>例年、自主事業の中で7月～10月の毎週金・土・日曜日はジャンプ練習でのジャンプ台使用料を無料にした。来年度以降も引き続き実施し、競技利用者(選手)のトレーニング促進に努めたい。</p>	区分	H30実績	R1計画	R1決算	大倉山ジャンプ競技場				競技利用者	385	1,200	904	競技利用回数	19	62	52	大会・公式	16	17	13	その他催物	2	3	3	本部棟会議室	23	20	22	テレビ中継装置	10	8	12	来場者	401,574	427,000	368,890	宮の森ジャンプ競技場				競技利用者	2,236	3,000	2,196	競技利用回数	93	119	129	大会・公式	16	5	3	来場者	16,476	30,000	12,967	荒井山シャンツェ				競技利用者	2,591	2,800	1,909	オリンピックミュージアム				有料観覧者	84,915	75,100	78,649	無料観覧者	42,170	42,300	36,052	観覧者合計	127,085	117,400	114,701	多目的ホール	0	8	0	大型映像車				利用回数	32	30	27	<p>R元年度は、9月からクリスタルハウス及びミュージアムの改修工事に際して段階的に施設を入場制限を設けながら営業を行った。夏季にはリフトの夜間営業を実施して夜景観賞地としてのPRに努めた。</p> <p>1月中旬から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い観光客の利用が減少したことや札幌市公共施設の一般開放を休止したことなどが影響し、来場者数や競技利用者は昨年度を比較して減少した。</p> <p>施設では新型コロナウイルスの感染拡大防止策の実施に努めながら、利用者への魅力発信と利用促進に努めたい。</p>	<table border="1" data-bbox="1270 524 1489 568"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。</p> <p>ミュージアムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により1月以降は利用者が大きく減少しているが、12月までは大倉山全体の魅力を発信することで、昨年並みの来場者数であった。また、クリスタルハウスのリニューアル及びミュージアムショップや受付カウンターの改修により、市民の利便や更なる魅力向上に努めていると評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。</p> <p>ミュージアムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により1月以降は利用者が大きく減少しているが、12月までは大倉山全体の魅力を発信することで、昨年並みの来場者数であった。また、クリスタルハウスのリニューアル及びミュージアムショップや受付カウンターの改修により、市民の利便や更なる魅力向上に努めていると評価できる。</p>			
区分	H30実績	R1計画	R1決算																																																																																																				
大倉山ジャンプ競技場																																																																																																							
競技利用者	385	1,200	904																																																																																																				
競技利用回数	19	62	52																																																																																																				
大会・公式	16	17	13																																																																																																				
その他催物	2	3	3																																																																																																				
本部棟会議室	23	20	22																																																																																																				
テレビ中継装置	10	8	12																																																																																																				
来場者	401,574	427,000	368,890																																																																																																				
宮の森ジャンプ競技場																																																																																																							
競技利用者	2,236	3,000	2,196																																																																																																				
競技利用回数	93	119	129																																																																																																				
大会・公式	16	5	3																																																																																																				
来場者	16,476	30,000	12,967																																																																																																				
荒井山シャンツェ																																																																																																							
競技利用者	2,591	2,800	1,909																																																																																																				
オリンピックミュージアム																																																																																																							
有料観覧者	84,915	75,100	78,649																																																																																																				
無料観覧者	42,170	42,300	36,052																																																																																																				
観覧者合計	127,085	117,400	114,701																																																																																																				
多目的ホール	0	8	0																																																																																																				
大型映像車																																																																																																							
利用回数	32	30	27																																																																																																				
A	B	C	D																																																																																																				
<p>競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。</p> <p>ミュージアムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により1月以降は利用者が大きく減少しているが、12月までは大倉山全体の魅力を発信することで、昨年並みの来場者数であった。また、クリスタルハウスのリニューアル及びミュージアムショップや受付カウンターの改修により、市民の利便や更なる魅力向上に努めていると評価できる。</p>																																																																																																							

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>当社HPにイベント情報やジャンプに関する情報の掲載の他、H27年度より開設したSNS(フェイスブックに加え今年度からはインスタグラムも使用)により情報発信の幅を広げた。</p> <p>市内観光施設・ホテル等へのパンフレット設置、ポスターの掲示を依頼したり、イベント時には大倉周辺町内会や店舗にチラシの配布等を行い、施設PRと利用促進に努めた。HP上では、問い合わせ専用のメールアドレスを使用し、利用者からの問い合わせ等に対応した。</p> <p>HPのウェブアクセシビリティへの取組 昨年度開設したOMNへの加盟を機に、札幌オリンピックミュージアムの専用HPについてウェブアクセシビリティに対応する仕様に変更し、2019年3月25日取組確認を実施し、同日に公開した。</p>	<p>HPやSNS上にタイムリーな情報を掲載することができた。また誰もが利用しやすいHP(ウェブアクセシビリティへの対応)となるよう整備を実施した。今後は、引き続きホテルや周辺町内会にも協力を仰ぎ広報業務に努めていきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいるほか、ミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。今後もHPやSNSの更新による最新情報の提供や、HPのリニューアル等での施設PR及び利用促進に期待する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいるほか、ミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。今後もHPやSNSの更新による最新情報の提供や、HPのリニューアル等での施設PR及び利用促進に期待する。</p>			
A	B	C	D								
<p>ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいるほか、ミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。今後もHPやSNSの更新による最新情報の提供や、HPのリニューアル等での施設PR及び利用促進に期待する。</p>											
	<p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。</p>	<p>引き継ぎ業務はなし。</p>									
2 自主事業その他											
	<p>▽ 自主事業</p> <p>ジャンプ競技場、ミュージアムの活用</p> <p>○山頂展望台スタート地点の開放</p> <p>普段は入場することのできないジャンプ台スタート地点を一般開放し、ジャンプ台の迫力と眺望を体験できる企画を実施した。 (GW期間(4/27～5/6))</p> <p>○展望台リフト特別夜間営業の実施</p> <p>日本夜景遺産に選ばれた大倉山から夜景を楽しんでもらうべく、期間限定でリフトの特別夜間営業を実施。スタート台の開放と併せて夜景観賞士による夜景解説を行うといった取組をH30年度に引き続き行った。 ※4/27～5/6、7/26～10/31に実施(うち10/26は公式練習)</p> <p>利用者数(期間合計)476名</p> <p>○「ウィンタースポーツフェスタin大倉山」の実施</p> <p>さっぽろ雪まつりの開催に合わせて札幌市中央区と共催した。市民及び観光客へジャンプ台を活用した様々な体験を通して冬の北海道の楽しみ方とウィンタースポーツへの関心と普及に努め、さらに地域振興や施設のPRと情報発信を目的とし、ウィンタースポーツ各種の体験などを北翔大学・札幌聖心女子学院高等学校・町内会他ボランティアの協力を得て実施した。 来場者 1,000名</p> <p>※集客イベント等に係る内容については、別紙4のとおり</p>	<p>平成20年度より実施しているウィンタースポーツフェスタin大倉山をはじめ、山頂展望台スタート地点の開放やリフトの夜間営業も実施し、大倉山の魅力を発信や施設のPRに努めた。今後は大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を新たに実施して参りたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>H30年度好評であった山頂展望台スタート地点の開放イベントを引き続き実施するとともに、リフトの夜間営業を行う等、施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>H30年度好評であった山頂展望台スタート地点の開放イベントを引き続き実施するとともに、リフトの夜間営業を行う等、施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p>			
A	B	C	D								
<p>H30年度好評であった山頂展望台スタート地点の開放イベントを引き続き実施するとともに、リフトの夜間営業を行う等、施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p>											

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用した。 また、警備係員として障がい者1名を雇用している。		特殊性等を考慮しながら、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。									
3 利用者の満足度											
▽ 利用者アンケートの結果		利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のニーズの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">接客満足度、総合満足度とも、非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	接客満足度、総合満足度とも、非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。			
A	B			C	D						
接客満足度、総合満足度とも、非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。											
実施方法	実施時期:4~2月※3月は施設閉鎖により無回収 設置場所:展望ラウンジ1ヶ所とミュージアム2ヶ所(1F・2F) 回答数:371件(展望ラウンジ112件、ミュージアム259件)										
結果概要	<p>【年齢】(10代以下、20~30代、40代~50代、60代以上、無回答) 164名、81名、83名、38名、5名</p> <p>【来場回数】(初回、2回、3~5回、6回以上、無回答) 285名、42名、25名、14名、5名</p> <p>【地域】(市内、道内、道外、海外、無回答) 103名、42名、197名、9名、20名</p> <p>【接客】(大変良い、良い、普通、やや悪い、悪い) 202名、92名、71名、6名、0名</p> <p>【接客満足度】(大変良い+良い)÷(全体-普通) 98%</p> <p>【施設を知ったきっかけ】(テレビ・ラジオ等、新聞・観光誌、紹介、インターネット、旅行会社、その他、無回答) 30名、54名、77名、62名、23名、106名、19名</p> <p>【次回の来場】(是非利用したい、機会があれば、利用しない) 183名、155名、7名、26名</p> <p>【総合満足度】(大満足+満足)÷(全体-未記入-普通) 95%</p>										
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【要望】駅から遠すぎて来るまでに疲れてしまった。</p> <p>【対応】夏季夜間営業に合わせて、円山動物園を經由して直接駅から来場できる『くらまる号』を期間限定で運行して、利用者の利便性向上につなげると共に施設の魅力発信に努めた。</p> <p>【その他意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季の雪景色がとても綺麗で、次回友人を連れて来たい。 ・札幌五輪の開催が決まれば、また施設を訪れたい。 ・展望台の屋外に温度計があると外国人が喜ぶと思う。 ・ミュージアム展示室内がとても暑かった。 ・リフトに乗るのに荷物を預けるコインロッカーが欲しい。 ・冬季のリフト乗車時にひざ掛けがあると嬉しい。 										

4 収支状況

▽ 収支 (千円・税込)

項目	R1計画	R1決算	差
収入	229,995	234,857	4,862
指定管理業務収入	227,885	229,205	1,320
指定管理費	168,885	169,658	773
利用料金	59,000	59,547	547
その他	0	0	0
自主事業収入	2,110	5,652	3,542
支出	234,826	240,681	5,855
指定管理業務支出	229,476	228,926	▲ 550
自主事業支出	5,350	11,755	6,405
営業外収入	0	6,679	6,679
営業外支出	0	0	0
収入-支出	▲ 4,831	855	5,686
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 4,831	855	5,686

▽ 説明

- ・収入については、指定管理利用料金等が堅調に推移していたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で営業休止期間が発生したことなどから微増となった。
 - ・支出については、上記営業休止期間が発生したことによる支出減や事業計画で見込んだ人員採用が進まず人件費が削減したことなどから若干の減額となったものの、展望ラウンジカフェの委託が期限内に直営に切り替わったことから売上原価等を計上し、計画と比較して増となった。
 - ・結果として収支は+855千円(税込)となった。
- ※上記決算には、NTC受託事業は含めないものとする。

R元年度は前期まで順調に計画に沿う営業を実施したものの、リニューアル工事に際してクリスタルハウス売店の閉店とミュージアムカフェの閉店、山頂展望台カフェの直営化などイレギュラーな営業形態が続いたことに加えて、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きくてたことから、後期の売上が大きく伸び悩んだ。来期は施設のリニューアルオープンを抑えていることから、施設内消毒の徹底など感染防止対策等を積極的に実施しながら、収支の安定化に努めたい。

A	B	C	D

新型コロナウイルス感染症の影響により施設が休館となる等の影響を受けたが、効率的な人員配置等により、計画より収支が改善している。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応

各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。

適	不適

適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>R元年度はリフト夜間営業の実施や各イベントの開催を通して施設の魅力向上と夜景観光地としての情報発信に努めた。新型コロナウイルスの感染拡大に合わせてインバウンド等観光客の来場が大幅に減ったものの、前期については札幌市や地域住民と連携を深めながら社員一丸となって魅力ある施設運営に努められた。</p> <p>ミュージアムについては、平成最後の年として、平成時代を振り返る写真展やイベントなど積極的に行い施設の来館者増に繋げた他、オリンピック・パラリンピック教育がH30年度から16校増えた61校の小学校の受入れを行い、各学校から好評価を受けた。また当館にオールオリンピックズ事務所を設置し、オリンピックやパラリンピアンと来館者が気軽に交流できる場所を提供し、新たな魅力の発信に努めた。</p> <p>自主事業としては、平成20年度より実施しているウィンタースポーツフェスタin大倉山を開催した。また貸館業務ではあるがレッドブル400等の大型イベントの他、山頂展望台スタート地点の開放や大倉山が日本夜景遺産に認定されたこともあり、夜間営業の実施をはじめ当社運営のいわ山ロープウェイと連携しながら札幌の主要な観光施設としての魅力発信及び向上に努められた。</p>	<p>ジャンプ競技場としての運営に関しては、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施し、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備を図っていききたい。</p> <p>ミュージアムについては、日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアムだけでなく日本のスポーツ関連の博物館とも交流を深め、日本独自のスポーツミュージアムネットワークを構築し、情報共有を積極的に行いながらオリンピック招致の機運醸成となるように教育・研究・イベント等に取り組んで参ります。またオリンピック・パラリンピック教育についてR2年度はコロナ感染防止対策を踏まえた上での受入れを行う予定となっている為、引き続きオリンピック・パラリンピアンと連携し授業の内容を充実させる他、オリンピック・パラリンピアンとの関係性をより拡充し、今後のミュージアム独自のイベント開催にも繋げて参りたい。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」を念頭に施設の運営管理を行うとともに、札幌市を代表する観光施設として、更なる魅力PRIに努めていききたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。</p> <p>ジャンプ競技場としての運営に関しては、FIS公認のジャンプ台として求められる高い水準での維持管理のほか、NTC競技別強化拠点施設として選手の積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。</p> <p>ミュージアムについては、施設の魅力を伝え、オリンピックミュージアムネットワークの教育ワーキンググループにも参加し、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、自主事業についても、ウィンタースポーツフェスタin大倉山を継続して開催しているほか、クリスタルハウスやミュージアムショップの改修を行うなど、年間を通して施設の魅力発信を図り、観光資源としての施設活用にも力を入れている。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」及び「オリンピック・パラリンピックの理念を広く伝え、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する」ことを念頭に施設の運営管理を行うとともに、本市を代表する観光施設として、更なる魅力PRIに努めていただくよう期待する。</p>	<p>本年度において、特に改善指導・指示を必要とする事項はなかった。</p>

再委託業務内容	業務の場所
夜間常駐警備業務	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(産廃ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(資源ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山シャンツェ
リフト保守管理業務	宮の森ジャンプ競技場
バイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 (スタートハウス、審判塔)
シアター映像装置保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
インラン整備機保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車(ブリノート他)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車(ホイローダー)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
収蔵品データシステム保守業務	札幌オリンピックミュージアム
展示演出定期保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム

平成31年度ミュージアム調査研究事業

別紙 2

1 自主研修の場の提供

平成31年度内に小・中・高等学校・養護学校合わせて463校が来館した。
(小学校235校、中学校117校、高等学校72校、養護学校36校、高専3校)

2 教育普及活動(特別展示会・イベント等)

① 青木紘二 KOJI AOKI 冬季オリンピック報道の世界～1984サラエボから2018平昌まで WINTER OLYMPIC GAMES-SARAJEVO 1984 TO PYEONGCHANG 2018-	観覧人数	71,229
② バイアスロン体験in大倉山	参加人数	1,058
③ 阿部名誉館長のバックヤードツアー	参加人数	午前 24 午後 22
④ オリンピック・デー	参加人数	303
	<small>※人数は述べ人数です。 ※内訳は以下の通り。 トークショー56名、テーブルカーリング128名、フロアカーリング119名</small>	
⑤ 大倉山小学校作品展示会	観覧人数	12,984
⑥ スポーツ × 工作ワークショップ	参加人数	33
⑦ カーリングデー2019 in おおくらやま	参加人数	26
⑧ 飛翔のキセキ憧憬コース	参加人数	52
⑨ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	38
⑩ 2020東京オリンピック「団結ORIGAMIプロジェクト」	参加人数	未集計
	<small>※コロナ感染防止のため中止</small>	
⑪ ウィンタースポーツフェスタ(バックヤードツアー)	参加人数	午前 20 午後 20

3 常設展示

1階アイスホッケー展示をリニューアル。女子アイスホッケーチームで活躍した足立友里恵氏、藤本那菜氏が平昌オリンピックで使用した用具を新たに展示した。

4 校外学習

- ① 大学関係・・・7校
(北海道科学大学、東海大学、筑波大学、札幌国際大学、北翔大学、北海道大学大学院、明治大学)
- ② 高校関係・・・0校
- ③ 中学校関係・・・12校
(京極町立京極中学校、小樽市立長橋中学校他)
- ④ 小学校関係・・・73校(オリンピック・パラリンピック教育・・・60校、その他13校)
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立厚別通小学校、札幌市立幌東小学校、札幌市立手稲山口小学校他、
その他の来館・・・平取町立平取小学校、帯広市立広野小学校等)
- ⑤ 実習等・・・0校
※ミュージアム3階リニューアル工事に伴い、10月以降の実習受入れ中止

5 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中(平成31年度 26件・28点登録、登録累計 14,184件・総数量39,251点)

6 収蔵品の収集・調査・研究・展示

冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究

(財)北海道スケート連盟及び一般の方(大熊廣明氏、奥平恒望氏、根子香代氏)から寄贈された資料の調査・研究

平成31年度ジャンプ競技場等使用実績
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

別紙 3

1 施設別一般来場者数(月別)

(単位:人)

区分	大倉山	宮の森	ミュージアム					
			総人数	大人	高齢者	団体	小中学校	免除
4月	24,477	1,102	7,634	3,747	223	1,741	1,485	438
5月	39,882	1,272	13,049	5,471	340	3,405	2,834	999
6月	38,772	1,086	12,871	4,695	461	3,475	3,039	1,201
7月	53,527	1,341	13,169	5,703	564	1,991	4,008	903
8月	56,399	1,490	15,691	8,227	598	1,250	4,882	734
9月	36,780	1,194	13,833	5,132	431	2,915	4,173	1,182
10月	33,777	1,129	12,031	4,313	458	4,046	2,381	833
11月	19,768	1,076	7,281	3,465	208	1,937	1,291	380
12月	17,601	889	6,152	2,979	138	1,167	1,560	308
1月	22,045	955	7,163	2,751	175	2,053	1,752	432
2月	22,428	851	5,827	2,957	134	1,499	831	406
3月	3,434	671	0	0	0	0	0	0
合計	368,890	13,056	114,701	49,440	3,730	25,479	28,236	7,816

2 札幌オリンピックミュージアム利用料金(使用料)関係

(1) 観覧料 44,793,160 円

(2) 多目的ホール (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		—	0
小計			0

(3) ライブラリー (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		—	0
小計			0

(4) エントランスホール (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		—	0
小計			0

(5)シアター

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
8月17日	NTTデータフォーラム2019イベント(TCP)	—	1,100
小計			1,100

札幌オリンピックミュージアム利用料金収入合計

44,794,260

3 大倉山ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1)-1ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	14	28,100	393,400
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	2	28,100	56,200	12月	0	28,100	0
7月	8	28,100	224,800	1月	12	28,100	337,200
8月	2	28,100	56,200	2月	2	28,100	56,200
9月	8	28,100	224,800	3月	0	28,100	0
				小計	48		1,348,800

(1)-2 ジャンプ競技一般練習日(自主事業利用分)

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
7月	0	28,100	0	9月	0	28,100	0
8月	0	28,100	0	10月	4	28,100	112,400
				小計	4		112,400

(2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月26日	全日本スキー選手権大会兼NHK杯ジャンプ大会	5割減免	14,050
11月1日	第32回UHB杯ジャンプ大会	5割減額	14,050
1月10日	FISジャンプワールドカップレディーズ2020札幌大会	5割減額	14,050
1月31日	FISジャンプワールドカップ2020札幌大会	5割減額	14,050
2月7日	第31回TVh杯ジャンプ大会	5割減額	14,050
2月10日	第61回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割減額	14,050
小計			84,300

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月3日	チャレンジカップ2019大倉山サマージャンプ大会	5割減額	45,850
8月4日	第20回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減額	0
10月27日	全日本スキー選手権大会兼NHK杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
11月2日	第32回UHB杯ジャンプ大会	5割減額	45,850
1月11日	FISジャンプワールドカップレディース2020札幌大会	5割減額	45,850
1月12日	FISジャンプワールドカップレディース2020札幌大会	5割減額	45,850
1月13日	第62回HBCカップジャンプ競技大会	5割減額	45,850
1月25日	第47回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2020	5割減額	45,850
1月26日	第59回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2020	5割減額	45,850
2月1日	FISジャンプワールドカップ2020札幌大会	5割減額	45,850
2月2日	FISジャンプワールドカップ2020札幌大会	5割減額	45,850
2月8日	第31回TVh杯ジャンプ大会	5割減額	45,850
2月11日	第61回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割減額	45,850
小計			550,200

(4)-1イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月18日	Red Bull 400	—	216,900
小計			216,900

(4)-2イベント等 (自主事業利用分)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
8月17日	NTTデータフォーラム2019イベント(TCP)	—	216,900
2月16日	ウィンタースポーツフェスタin大倉山	—	216,900
小計			433,800

(5)運営本部(会議室)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月18日	全日本コーチ会議	—	3,640
4月19日	全日本コーチ会議	—	7,280
5月25日	ニルソメット宮の森管理組合理事会	—	1,820
6月16日	ニルソメット宮の森管理組合マンション会議	—	1,820
6月18・19日	警備現任教育(自主使用)	—	14,560
7月12日	特定保健指導(自主使用)	—	1,820
8月3日	研修利用(ミッツエデュパーク)	—	2,730
8月5日	入札会場(自社使用)	—	910
8月16日	NTTデータフォーラム2019前日準備(TCP)	—	16,380
8月26日	改修工事定例会議(自社使用)	—	910
9月6日	ミーティング利用(近畿日本ツーリスト苫小牧支店)	—	910
9月12日	VJフィリピン旅行会社招聘事業(日本旅行北海道)	—	910
10月11日	町内会会議(宮の森大倉山連合町内会)	—	1,820

10月14日	町内会会議(宮の森中央町内会)	—	910
10月16日	昼食場所としての利用(札幌市立西陵中学校)	—	910
11月4日	理事会での利用(ニルソメット宮の森管理組合)	—	910
11月14日	昼食場所での利用(札幌市立北白石小学校)	—	910
12/2~4,6日	警備員現任教育※自主利用	—	10,920
12月7日	理事会での使用(ニルソメット宮の森管理組合)	—	2,730
1月24日	オリンピック選手インタビュー	—	910
2月5日	『ミライモンスター』撮影	—	1,820
2月23日	マンション理事会	—	1,820
小計			77,350

(6) 観覧フィールド

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		—	0
小計			0

(7) テレビ映像中継装置

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
8月3日	チャレンジカップ場内映像配信(札幌市)	10割	0
10月27日	全日本スキー選手権大会兼NHK杯ジャンプ大会	—	197,000
11月1日,2日	第31回UHB杯ジャンプ大会	—	197,000
1月11日	FISジャンプワールドカップレディーズ2020札幌大会	—	197,000
1月12日	FISジャンプワールドカップレディーズ2020札幌大会	—	197,000
1月13日	第61回HBCカップ競技大会	—	197,000
1月25日	第47回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2020	—	197,000
1月26日	第59回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2020	—	197,000
2月1日	FISジャンプワールドカップ2020札幌大会	—	197,000
2月2日	FISジャンプワールドカップ2020札幌大会	—	197,000
2月8日	第31回TVh杯ジャンプ大会	—	197,000
2月11日	第61回雪印杯ジャンプ競技大会	—	197,000
小計			2,167,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計

4,990,750

4 宮の森ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1) ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	19	28,100	533,900
5月	0	28,100	0	11月	8	28,100	224,800
6月	25	28,100	702,500	12月	0	28,100	0
7月	22	28,100	618,200	1月	0	28,100	0
8月	17	28,100	477,700	2月	6	28,100	168,600
9月	25	28,100	702,500	3月	7	28,100	196,700
				小計	129		3,624,900

(2) 公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月25日	全日本スキー選手権大会	5割減免	14,050
小計			14,050

(3) 大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月2日	第37回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減額	0
10月26日	全日本スキー選手権大会	5割減免	45,850
小計			45,850

(4) イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-		-	-
小計			0

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計

3,684,800

5 荒井山シャンツェ利用状況

(1) ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
4月	4	34	10月	16	201
5月	26	281	11月	3	62
6月	22	243	12月	0	0
7月	21	339	1月	5	83
8月	23	164	2月	9	236
9月	19	266	3月	0	0
			小計	148	1,909

6 撮影利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
4月10日	テレビ	大倉山	TBSテレビ・「さんまの熱中少年GP」撮影	-	15,000
4月13日	テレビ	大倉山	(株)ITコミュニケーションズ・ドキュメンタリー撮影	-	15,000
4月14日	テレビ	大倉山	北海道テレビ・「イオン！」ウォーキング特集のコース紹介 ※報道の為、免除	10割減額	0
4月16日	テレビ	ミュージアム	池野徳明・JR北海道PR映像撮影	-	15,000
4月25日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送(株)「イオン！」ニュース映像撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
4月25日	テレビ	大倉山	北海道放送(株)「今日ドキ！」ニュース映像撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
5月6日	テレビ	大倉山	北海道放送(株)「今日ドキ！」撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
5月10日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送(株) RED BULL400 練習撮影	-	15,000
5月14日	写真	大倉山	(株)スクールコーポレーション アットホーム(株)発行・会報誌用素材撮影	-	1,500
5月16日	写真	大倉山	信託ホーム(株) パルティ作成用写真撮影	-	1,500
5月16日	写真	大倉山	(株)スクールコーポレーション アットホーム(株)発行・会報誌用素材撮影	-	1,500
5月18日	テレビ	大倉山	レットフル・ジャパン(株) RED BULL400 撮影	-	15,000
5月18日	テレビ	大倉山	北海道放送(株)「今日ドキ！」RED BULL400 撮影	-	15,000
6月4日	テレビ	大倉山	(株)毎日放送 「せやねん！」取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
6月8日	テレビ	大倉山	TBSテレビ 「報道特集」取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
6月10日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 「マレーシアTV3」番組撮影	-	15,000
6月11日	テレビ	大倉山	テレビ朝日 「報道ステーション」撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
6月12日	テレビ	大倉山	北海道放送(株) 「HBC今日ドキ！」撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
6月17日	テレビ	大倉山	(株)コクーン 「LINE TV」番組撮影	-	15,000
6月23日	テレビ	ミュージアム	HTB 「オリンピックデー」イベント撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
6月23日	写真	ミュージアム	北海道新聞社 「新聞報道」 ※報道の為、免除	10割減額	0
6月24日	写真	大倉	合同会社マカロニ 「クラレカレンダー2020」撮影	-	1,500
6月27日	テレビ	大倉	クリエイティブネクサス NHK『ふらっとあの街 旅ラン10km』撮影	-	15,000

7月7日	写真	ミュージック	ハレバレシャシ 作品製作のためミュージアム展示物撮影	-	1,500
7月9日	テレビ	宮の森	岩手朝日テレビ 小林潤志郎さん・陵侑さんの特別番組撮影 ※報道の為免除	10割減額	0
7月14日	テレビ	大倉山	nice ホクレンSSIにて配布予定のドライブマップ用動画撮影	-	15,000
7月17日	写真	ミュージック	十勝毎日新聞社 新聞紙面撮影 ※報道の為免除	10割減額	0
7月30日	写真	大倉山	JOINT ONE 北海道運輸局主催「RWC2019HOKKAIDO」雑誌撮影 ※ 報道の為免除	-	1,500
7月31日	写真	大倉山	北海道新聞社 夜間営業新聞記事作成のため撮影 ※報道の為免除	10割減額	0
8月2日	テレビ	大倉山	北海道新聞社 どうしん電子版・動画ニュース用取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
8月6日	テレビ	大倉山	(株)ワン・オーガスト NHK「みんなのうた」の素材撮影	-	15,000
8月8日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送(株) 札幌フィルムコミッション競技場視察 ※報道の為、免除	10割減額	0
9月1日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月1日	テレビ	大倉山	北海道建設新聞社 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月1日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月1日	テレビ	大倉山	朝日新聞社 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月1日	テレビ	大倉山	北海道新聞社 さっぽろ10区編集部 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月1日	テレビ	大倉山	(株)村重スタジオ 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月1日	テレビ	大倉山	北海道新聞 子供ワークショップ撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
9月2日	テレビ	大倉山	(株)トップシーン札幌 NHK WORLD「Wild Hokkaido」撮影	-	15,000
9月10日	テレビ	大倉山	ティエンポ・イベロアメリカノ 海外テレビ局制作ドキュメンタリー番組撮影	-	15,000
9月13日	テレビ	大倉山	(株)トップシーン札幌(共同テレビジョン) U-NEXT「THE BOYZ」番組撮影	-	15,000
9月13日	写真	大倉山	(株)MOVE 日之出MOOK「snow angel」北海道企画写真撮影	-	1,500
9月15日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 『イチオシ!モーニング』松岡修造インタビュー撮影	-	15,000
9月20日	テレビ	大倉山	水島七恵 JAXA機関紙撮影	-	15,000
9月24日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 『ジョシスタあいくの』番組収録撮影	-	15,000
9月26日	テレビ	大倉山	札幌市スポーツ局 職員採用のための動画撮影 ※減免申請あり	10割減免	0

9月27日	テレビ	大倉山	(株)ベルガモ STVラジオ『なまらぶ』収録撮影	-	15,000
9月29日	写真	大倉山	高井智啓 『トラベルコ・MogTRIP北海道』取材	-	1,500
10月1日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 『みんテレ』JOC会長来札の取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月1日	テレビ	大倉山	北海道放送 『今日ドキッ!』JOC会長来札の取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25～27日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 『NHK杯ジャンプ大会』撮影	-	45,000
10月28日	テレビ	大倉山	(株)イー・シー・プロ 『e-Learning教材映像』撮影	-	15,000
10月28日	テレビ	大倉山	TBSスパークル 『私の翼たち』撮影	-	15,000
10月28日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 『スポーツニュース』撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
10月30日	写真	大倉山	フェロールーム(株) 雑誌『カートピア1月号』取材	-	1,500
11月1～2日	テレビ	大倉山	北海道文化放送(株) 第32回UHB杯ジャンプ大会撮影	-	30,000
11月8日	テレビ	大倉山	(株)土屋ホームスキー部 葛西選手取材 ※報道のため減免	10割減免	0
11月8日	テレビ	大倉山	さっぽろ産業振興財団 中国TV番組取材 ※札幌市スポーツ部より減免依頼有	10割減免	0
11月14日	写真	大倉山	共同通信社 文化面記事取材 ※報道のため減免	10割減免	0
11月27日	テレビ	大倉山	(株)テレビ東京 モヤモヤさまぁ〜ず2撮影	-	15,000
11月29日	写真	大倉山	読売新聞東京本社 冬季五輪招致に関する記事取材 ※報道のため減免	10割減免	0
12月12日	テレビ	大倉山	テレビマンユニオン TV番組『子供たちに残したい美しい日本のうた』撮影	-	15,000
12月13日	テレビ	大倉山	札幌フィルムコミッション 中国TV番組取材 ※スポーツ部より減免依頼有	10割減免	0
12月23日	写真	大倉山	北海道新聞HotMedia ウィンタースポーツフェスタを紹介する特集記事取材 ※報道の為減免	10割減免	0
12月25日	写真	荒井山	共同通信社 荒井山シャンツェの撮影取材 ※報道の為減免	10割減免	0
12月26日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 HTBカップ番宣撮影	-	15,000
12月28日	テレビ	大倉山	日本デザインセンター 無印良品企業広告『掃除』PR用撮影	-	15,000
12月30日	写真	大倉山	(株)北海道新聞ホットメディア 道新スポーツ ジャンプ選手撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
1月3日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 ニュース取材 ※報道の為免除	10割減額	0
1月7日	写真	大倉山	北海道新聞社 新聞記事取材 ※報道の為免除	10割減額	0

1月10～12日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 FISワールドカップジャンプレディース2020	-	45,000
1月10～12日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 FISワールドカップジャンプレディース2020	-	45,000
1月12～13日	テレビ	大倉山	北海道放送 HBCカップジャンプ大会	-	30,000
1月14日	写真	大倉山	北海道新聞社 北海道新聞日曜版取材 ※報道の為免除	10割減額	0
1月16日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 『イチモニ!』撮影	-	15,000
1月19日	テレビ	大倉山	阪急交通社鹿児島支店 阪急交通社募集ツアー取材	-	15,000
1月22～24日	テレビ	大倉山	ドキュメンタリージャパン BS11『キラボシ!』撮影	-	45,000
1月24日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 オリンピック選手インタビュー撮影	-	15,000
1月24～26日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 STVカップジャンプ大会	-	45,000
1月25日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 HTBカップジャンプ大会	-	15,000
1月29日	テレビ	大倉山	クロステレビジョン 道新ニュース『夢へチャレンジ』撮影 ※報道の為免除	10割減額	0
1月30日	テレビ	大倉山	POLAND WALSIWA ワールドカップテレビ取材	-	15,000
1月31日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 FISワールドカップジャンプ2020	-	15,000
1月31日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 FISワールドカップジャンプ2020	-	15,000
2月1日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 FISジャンプワールドカップ2020	-	15,000
2月1～2日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 FISジャンプワールドカップ2020	-	30,000
2月2日	テレビ	大倉山	札幌市 2030冬季五輪招致PV動画撮影 ※減免	10割減免	0
2月5日	テレビ	大倉山	㈱ディ・コンプレックス 『ミライ☆モンスター』取材	-	15,000
2月7～8日	テレビ	大倉山	テレビ北海道 第31回TVh杯ジャンプ大会	-	30,000
2月9日	テレビ	大倉山	㈱ドキュメンタリージャパン BS11『キラボシ!』取材	-	15,000
2月9日	写真	大倉山	北海道博報堂 ドイツ旅行雑誌取材	-	1,500
2月10～11日	テレビ	大倉山	北海道放送 第61回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会	-	30,000
2月10日	テレビ	大倉山	Tourism Media Expediaオンライントラベルガイド取材	-	15,000
2月13日	写真	大倉山	日本経済新聞社 日経MJ誌取材 ※報道の為減免	10割減免	0

2月20日	テレビ	大倉山	HANATOUR 旅行商品ホームページ制作取材	-	15,000
2月25日	テレビ	大倉山	札幌市 2030冬季五輪招致PV動画撮影 ※減免	10割減免	0
2月25日	写真	大倉山	北海道新聞社 阿部名誉館長取材 ※報道の為減免	10割減免	0
3月29日	写真	大倉山	北海道新聞社 スキージャンプ私設応援団札幌ノイズチーム取材 ※報道の為減免	10割減免	0
計					930,000

7 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
5月18日	レッドブル・ジャパン(株) 「Red Bull400 SAPPORO OKURAYAMA」 ※場内・その他	-	90,400
6月11～13日	NTT東日本北海道グループ・陸上自衛隊北部方面隊共同防災演習 「東日本電信電話(株)北海道事業部」	-	717,680
6月14～15日	2019年度 鶴川・沙流川総合水防演習 「(株)ヤマチコーポレーション」	-	560,960
6月23日	KOMEI LIVE 2019 「公明党北海道本部」	-	251,850
7月6日	エア・ウォーターグループ総合防災訓練 「エア・ウォーター・テクノサプライ(株)」	-	217,120
7月7日	アートホーム感謝祭 「(株)プランニングホッコー」	-	223,690
7月20日	第48回全道消防救助技術訓練指導会 「(一財)全国消防協会北海道地区支部」	-	232,140
8月3日	チャレンジカップ2019大倉山スキージャンプ大会 札幌市スポーツ部	10割減額	0
8月11～12日	札幌ドーム屋外テラス ファイターズ戦パブリックビューイング 札幌市スポーツ部	10割減額	0
8月13日	第24回むらもと祭り (株)めもるホールディングス	-	241,750
8月21～22日	第2回高島旅館ビアフェスト いわない温泉高島旅館	-	341,240
8月24日	日清食品 ラーメン記念日フェスタ2019in千歳工場 プロス(株)	-	538,330
8月25日	北海道マラソン2019 北海道マラソン組織委員会	-	216,810
9月4日	恵庭市総務部基地・防災課 恵庭市総合防災訓練	-	254,890
9月5～6日	札幌市中央区市民部総務企画課 札幌市総合防災訓練	5割減免	116,070
9月19～22日	札幌市スポーツ局国際大会担当部 ラグビーワールドカップ2019パブリックビューイング	5割減免	476,320
10月5～6日	第44回札幌マラソン ※札幌市スポーツ部主催につき10割減免	10割減免	0

10月19日	えにわハッピーハロウィン2019	-	307,450
10月27日	全日本スキー選手権大会兼NHK杯ジャンプ大会	-	31,000
11月2日	第32回UHB杯ジャンプ大会	-	39,060
1月11日	FISジャンプワールドカップレディース2020札幌大会	-	31,000
1月12日	FISジャンプワールドカップレディース2020札幌大会	-	32,860
1月13日	第61回HBCカップジャンプ競技大会	-	39,060
1月25日	第47回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2020	-	45,260
1月26日	第59回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2020	-	45,260
2月8日	第31回TVh杯ジャンプ大会	-	31,000
2月11日	第61回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会	-	65,720
計			5,146,920

大型映像車利用料金収入合計		5,146,920
内 訳	場内(ジャンプ)	360,220
	場内(その他)	90,400
	競技場以外	4,696,300

① 山頂展望台スタート地点の開放

普段は入ることが出来ない山頂展望台のジャンプ台スタート地点を一般開放し、国際大会の会場となるラージヒルジャンプ台の迫力とジャンプ選手の気分を来場者の方々に体験して頂いた。

1. 内容 ジャンプ台のスタート地点を開放し、ジャンプ台からの眺望とジャンプ選手の気分を体験してもらう。
※当社職員がガイドとして常駐し、来場者の方へ施設概要等の説明をした。
2. 期間 平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月) 10:00～14:00

② 展望台リフト特別夜間営業

日本新三大夜景に認定されている札幌の夜景を大倉山山頂からも楽しんでもらうべく、期間限定で展望台リフトの特別夜間営業を実施した。なお、この期間の中で、スタート台の開放や夜景鑑賞士によるジャンプ台と夜景の解説を行う取組も実施した。

1. 内容 大倉山展望台リフト特別夜間営業
※スタート台開放も併せて実施。詳細は上記①のとおり。
2. 期間 (1)平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月) 18:00～20:00
(2)令和元年7月26日(金)～9月30日(月) 18:00～21:00
(3)令和元年10月1日(火)～10月31日(木) 18:00～20:00
3. 利用者数 (1)545名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による
(2)4,108名
(2)467名

③ 「ウィンタースポーツフェスタin大倉山」の実施

さっぽろ雪まつり開催にあわせ市民及び観光客へジャンプ台を活用した様々な体験を通して「冬の北海道」の楽しみ方とウィンタースポーツへの関心と普及に努め、さらに地域振興や大倉山施設の周知と情報発信を目的とし札幌市中央区と共催した。
ウィンタースポーツ各種の体験などを、北翔大学・札幌聖心女子学院高等学校・町内会などボランティアの協力を得て実施。

1. 内容 (1)チューブすべり(ランディングパーンをを使ってのチューブ滑り体験。小学校高学年以上の一般コースと親子で乗れる子供用コースの2コースを設置)
(2) Satz階段ツアー(普段入ることの出来ないジャンプ台横の階段を徒歩でる。)
(3) バックヤードツアー(普段入ることの出来ないジャンプ台・本部棟内をガイドを付けて見学する)
(4) ウィンタースポーツ体験コーナー(ゴルポッカ体験)
(5) そり遊び(ブレーキングトラックを数種類のそりで滑る)
(6) 札幌市子ども会育成連合会中央区支部PRコーナー
(7) こどもボブスレー体験コーナー
(8) 幼児あそびコーナー
(9) スープ無料配布
2. 期間 令和2年2月16日(日) 9:30～15:00
3. 来場者数 1,000名

平成31年度年間行事(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

企画名	開催時期	内容	備考	開催場所
1 青木紘二 KOJI AOKI 冬季オリンピック報道の世界～1984サラエボから2018平昌まで WINTER OLYMPIC GAMES-SARAJEVO 1984 TO PYEONGCHANG 2018-	4月27日～9月30日	1984年サラエボ大会から2018年平昌大会まで青木紘二氏が撮影した冬季オリンピックの写真展。	主催：株式会社アフロ、株式会社札幌振興公社(札幌オリンピックミュージアム)	ミュージアム1階特別展示コーナー
2 バイアスロン体験in大倉山	5月3日～5月5日	バイアスロン競技の射撃を、専用のシミュレーターを使用して体験。	一般社団法人日本バイアスロン連盟の協力を頂き開催	ミュージアム1階シアター前
3 阿部名誉館長のバックヤードツアー	5月4日	阿部名誉館長による競技場のバックヤードツアー。		バックヤードツアー：運営本部棟
4 オリンピック・デー2019 小笠原歩さんが語る！カーリングの秘密と魅力	6月23日	IOC創立を祝うイベント。小笠原歩さんをゲストにお招きし、トークショーとフロアーカーリングの講習を開催。	後援：(公財)日本オリンピック委員会	ミュージアム1階シアターおよびシアター前
5 大倉山小学校作品展	7月26日～8月19日	大倉山小学校2年生が授業で作成した絵画を展示。		ミュージアム1階無料スペース
6 スポーツ×工作ワークショップ	8月10日～11日、17日	牛乳パックとペットボトルのフタで「卓上カーリングボード」と「卓上スキージャンプ台」を工作。	北海道科学大学の学生発案による企画。講師も学生が務めた。	ミュージアム2階ライブラリー室
7 カーリングデー2019 in おおくらやま	8月11日	フロアーカーリングとテーブルカーリングの体験を実施。阿部名誉館長によるバックヤードツアーも実施。	北海道カーリング協会の協力を頂き開催	ミュージアム1階シアター前 大倉山ジャンプ台、トレーニングルーム、ミュージアム常設展示室
8 飛翔のキセキ憧憧コース	8月17日	スキージャンパーの実演を船木和喜さんが解説。		大倉山ジャンプ競技場 競技運営本部棟 ミュージアム
9 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	8月24日、10月14日	ノルディックウォーキングで大倉山と宮の森の2つのジャンプ台を往復。		ミュージアム3階多目的ホールに集合・出発。宮の森ジャンプ競技場を経由して大倉山ジャンプ競技場に戻るルート
10 2020東京オリンピック「団結ORIGAMIプロジェクト」	2019年10月1日～(2020年6月15日) ※コロナ感染防止のため、中止	JOC主催の「がんばれ！ニッポン！全員団結プロジェクト」のイベントの1つ。人の形に折り、自分の似顔絵とアスリートへの応援メッセージを書いて完成したORIGAMIは、日本選手団へ届けられる。		ミュージアム1階シアター前及びスケートの歴史前
11 ウィンタースポーツフェスタ・バックヤードツアー	2月16日	運営本部棟の実況室やトレーニングルームを案内。		競技運営本部棟